

# 令和8年度 第1回滑川市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和8年4月28日(火) 18時30分～19時40分  
場 所 滑川市役所東別館3階中会議室  
出席者 【委員】9名(全員出席)  
浦田委員、佐伯委員、松井委員、西元委員、原委員、杉田委員、  
山岸委員、吉田委員、廣瀬委員  
【滑川市】 市長、事務局(生活環境課)

## 次 第

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 市長あいさつ
4. 会長の選出
5. 副会長、議事録署名委員の指名
6. 諮問

### 【審議事項】

- (1) 家庭ごみ有料化に向けた基本的な考え方について
- (2) スケジュール(案)について

7. 閉会

## 会議録

1. 開会
  - 委員9名全員出席。「滑川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則」第4条第2項により審議会が成立。
  - ※審議会成立要件：委員の半数以上の出席
2. 委嘱状の交付(机上配布)
3. 市長挨拶
4. 会長の選出
  - 「滑川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則」第3条により、会長を浦田委員に決定。
5. 副会長、議事録署名委員の指名
  - 会長が下記のとおり、副会長及び議事録署名委員を指名。  
副会長：佐伯委員(富山県立大学 環境・社会基盤工学科 准教授)  
議事録署名委員：西元委員(滑川市社会福祉協議会 会長)  
杉田委員(滑川商工会議所 専務理事)

## 6. 諮問

- 「滑川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」第7条に基づき、「家庭ごみ有料化に向けた基本的な考え方」について、諮問（市長から浦田会長へ諮問書を手渡し）

### 審議（主な発言内容）

#### (1) 家庭ごみ有料化に向けた基本的な考え方について

- 事務局より資料1の概要を説明。

委員：全国的な有料化の傾向は事務局から説明があったとおりだが、県内の状況が分かれば教えていただきたい。

事務局：現在無料なのは、富山市、滑川市、立山町、上市町、舟橋村の2市2町1村で構成している富山地区広域圏のみであり、その他の市町はすでに有料である。

委員：富山地区広域圏の構成市町村の動きはどうなっているのか。

事務局：富山市が有料化に向けて進んでいることから、滑川市と舟橋村が同様の方向で検討している。

市長：上市町と立山町は有料化より減量化が先だという考えだが、滑川市としてはコンポスト等の補助を以前から実施しているほか、プラスチックの一括資源回収など、資源化や減量化の取組はこれまでも進めてきた。富山市のごみの排出量が減ると滑川市の負担が増えることもあり、富山市と足並みを揃えた方が得策ではないかということでこの度、検討を始めたところである。

委員：有料化の対象外となる品目があるが、これらも有料のごみ袋を使わないといけないのか。

事務局：無料のものは今までと同様の出し方（紙おむつ等は透明または半透明の袋に入れる、ライターやスプレー缶はカゴに入れる等）を考えているが、個別品目の細かい出し方については今後、収集事業者と相談していきたい。

委員：ボランティアのごみや清掃ごみの分別はどうなるのか。草刈りしたものをそのまま袋に入れる人もいる。

事務局：現在と同じく、透明または半透明の中身が見えるように出していただければ回収する。

委員：分別が少しわかりにくい。有料化により全部のごみが有料になるのかと思っていた。

委員：燃やせるごみに混入しているガスボンベに起因する火災などを防ぐために、中身が見える形での回収をお願いしたい。

ただ、有料化の対象外品目については、今までどおりの形でごみステ-

ションに出ているものについては回収する予定である。剪定枝などはビニール袋では破れてしまうこともあるので、口を開けたごみ袋などに入っていたり、縛ったりする方法で出されている。

委員：「有料化の対象品目は有料のごみ袋、対象外品目は今までどおりに出してください」といえば、それほど混乱しないと思う。

委員：富山地区広域圏以外でも、無料で回収するごみはあるのか。

事務局：紙おむつや剪定枝などを対象外としているところはある。

委員：ボランティアごみも無料となっているが、その辺の見極めはどうするのか。

事務局：ボランティアごみについては、今も事前に実施日と排出予定量などの届け出があり、個別に回収しているので、同様の運用をすれば問題がないと考えている。

委員：有料化というと、市がこれまで負担していたごみ処理料金を市民に負担させるイメージが強いが、あくまで減量化が目的ということである。有料化して費用の一部をごみ袋代として回収しながら、減量化に協力いただき、促進していくところが伝わりにくい気がする。

ごみ処理施設に（燃やせるごみを）搬入すると10kgで180円を負担することになる。45ℓのごみ袋は45円ということだが、燃やせるごみの重さを量ってみたところ、1袋あたり3～4kgだった。処理費用に換算すると、3kgだとしても54円かかる計算になるので、それを45円の袋で回収するとなると、逆に市が納めないといけない。

委員：確かに有料化と言うと、全部を私たちが負担しているというイメージがある。それ以上のものを市が負担しているというのをもっとアピールしないといけない。

委員：ごみ袋がこれまでより高くなると、学校や養護施設などでも負担が増えると思うが、市が補助する予定はあるのか。

事務局：学校や施設などは事業系ごみという扱いなので、家庭系ごみとは出し方が異なり、別の方法での回収となっている。

委員：事業系ごみは事業者が全部、自分で処理していただくことになっており、すでにご負担いただいている。

委員：従来の福祉部門の施策との整合性とあるが、例えば生活困窮者や高齢者、障がい者に対する支援や配慮は考えているのか。

事務局：生活保護の方に関しては、現状の保護費にごみの有料化に伴う費用が入っていないこともあり、現物支給など何らかの形で支援しなければいけないと考えているが、どこまでの方を生活困窮者とするかなどを一律に判断できないところがある。

紙おむつや尿取りパッド、ストマなど在宅医療廃棄物などを無料とすることによって、支援の一つとできないかと考えている。

- 委員：資源ごみの回収箇所は町内で1箇所だけとなっている。高齢者からはそこまで持って行けないという声も聞いている。ストックヤードなどもあるが更に遠い。コミュニティの中にいつでも出せる拠点があると良い。
- 委員：資源ごみは、各ステーションごとの数量に基づいて町内会に（奨励金として）還元されている。ストックヤードに出すのも良いが、少しでも町内を出していただけると良いと思う。
- 委員：ごみを有料化してごみ袋が高くなると、圧縮してごみを捨てる。それではごみの重さは変わらない。燃やせるごみに入れている紙やプラスチックの容器など、本来は資源ごみに出すべきものを資源ごみとして出してもらわないとごみは減らない。有料化で市民に負担をお願いするなら、資源ごみの回収頻度を見直すなども必要である。
- みんなが発泡トレーなどをスーパーに持って行くと、今後はそちらに負担がかかるので、スーパーに補助を出すとか。新たな回収ボックスの置き場所を町内で検討するなどの話もすると良いと思う。
- また、紙おむつを別に無料の袋で出すのは混入ごみの対策が大変になるので、いっそのこと全部を有料にして、小さいお子さんがいる家庭に対してはごみ袋を配布した方が楽なのではないか。
- 委員：紙おむつ類は分けていただいた方がありがたい。1日置いておくと発酵するし、プレス時に爆発することもあるので、紙おむつが入っていると分かっていたら（回収事業者が）後ろの蓋を閉めてから回すなどの対策がとれる。
- それと、滑川市は富山市のベッドタウン的な性格があるので、富山市とある程度足並みを揃えた方が良いと思う。富山市で捨てる则有料、滑川市は無料ということがあり、富山市の方が滑川市でごみを捨てるということも発生する。
- 委員：昔、紙おむつをリサイクルするという話もあったが。
- 委員：太平洋側の大きな市ではリサイクルしているところがある。
- 委員：現実的にコストを考えてまだ普及していない。滑川市だと量がそこまで集まらないので、大都市でないと難しいのではないか。
- 紙おむつを別に無料で収集するのは非常に良いことだと思うので、市としては収集のアピールをしていただいた方が良い。
- 委員：紙おむつは無料となっているが、有料のごみ袋に入れても問題はないだろう。紙おむつは人間だけでなく、ペット用もある。
- 委員：減量化というと、厨芥類が34%で、このうち水分が70～80%ある。水を3割切るだけで量が減る。真面目な家では三角コーナーの水切りではなく、サラダ用の遠心分離機のような水切りや、家庭用の生ごみ処理機で水を切ってから捨てている。これを全家庭でやったらすごくごみが減りそうである。

- 委員 : 5月には各地区を回って意見を伺っていく形になるとのことだが、何が今までと変わるのか、市民にとってのメリットとデメリットをまとめた表を1枚つけてほしい。
- 委員 : 各地区の意見交換会は平日夜7時となっている。この時間帯は男性が行く時間であり、女性は行かないと思う。
- 委員 : 紙おむつの話に戻るが、おむつは(おしり拭きなど)拭くものもあるのでかなりの分量になる。併せて有料化してしまった方が良いというご意見もあったが、そこは配慮して有料化の対象外として収集していただきたい。
- 委員 : 有料でも構わない人は有料のごみ袋に入れたら良いのではないか。ごみ袋を今までと違うものにするのだから、テクニク的に考えてできるだろう。
- 事務局 : 可能である。おむつ等を使用していることを知られたくない方もいると思うので、必ず透明な袋で出していただかないといけない訳ではない。有料の対象品目を無料の袋で出すのはご遠慮いただきたいが、逆については問題ない。
- 委員 : ごみ処理費用として年間3億4,000万円ほどかかっていると資料にある。45ℓのごみ袋で3kgのごみを捨てたら、現状としては袋代も含めていくらかかっているのか。有料化により市民に負担していただく部分があるが、それ以上に市の税金で負担しているということが分かるような資料を意見交換会で出していただいた方が良いと思う。  
また、負担していただいたお金をどういう風に使うのかを具体的に書いてもらった方が、前向きな意見が出ると思う。
- 委員 : 説明は可視化した方が良い。文章で書いても誰も読まない。意見交換会に女性はほとんど行かないし、説明を聞いてきた男性は家で奥様にわかりやすく説明することもない。
- 委員 : 上市町と立山町が仮に有料化しないということであれば、必ず「どうして滑川市は無料でできないのか」という声が出てくる。本当は足並みを揃えてもらった方が良かったのだが、
- 委員 : いずれは有料化しないといけなくなる。
- 委員 : 毎年の成果を上手に公表している事例があれば、それをやった方が良い。「45円になったが大して高くない」となった時にリバウンドした事例も過去にはあるので。
- 委員 : レジ袋だって5円くらいはかかっている。45円は別に高くない。周りの人は、お金のことよりも(分別が)面倒としか言わない。  
資源ごみの報奨金制度もいくら入っているか知らない人がいる。

(2) スケジュール（案）について

➤資料に基づき事務局が説明。

各地区での意見交換会、3回の審議会、パブリックコメント等を経て、令和8年10月に答申。

7. 閉会